

# キャリアセミナー2020日程案

豊富な経験を有する講師とともに、働くとは何か、そして仕事と地域や世界とのつながりについて考えます。テーマ別の分科会ごとに、ワークショップやディスカッションを取り入れた、メディア講義形式の集中授業です。

## <国際キャリア教育、International Career Seminar共通>

### ■オンラインオリエンテーション

- 7月28日(火) 18:00~19:00 全体指導
- 7月29日(水) 18:00~19:30 「国際キャリア教育」分科会事前指導
- 7月30日(木) 18:00~19:30 「International Career Seminar」分科会事前指導

1日目

9:30~17:50

2日目

8:30~18:30

午前
開講式/オリエンテーション
全体講義/グループディスカッション
--- 昼食休憩 ---
午後
パネルトーク
趣旨説明/発表プレゼン方法説明
分科会Ⅰ (分科会講師による講義等)

午前
分科会Ⅱ (グループディスカッション、発表準備等)
--- 昼食休憩 ---
午後
分科会Ⅲ
中間発表
発表準備 (自由)

3日目

9:00~15:15

午前
発表準備
全体発表
--- 昼食休憩 ---
午後
振り返り/意見交換/全体総括等
閉講式



日程は変更になる場合がありますのであらかじめご了承ください。

### 申し込み方法

申込方法：1. 申込フォームから (<http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/registration/>)  
2. 申込用紙の送付 (申込用紙請求先メールアドレス: [kokuca@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp](mailto:kokuca@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp))

申込開始：2020年6月2日(火) 申込締切：2020年6月30日(火) (定員になり次第締め切ります。)

分科会：原則先着順としますが、人数に偏りがある場合は調整させていただきます。

### 問い合わせ先

宇都宮大学 国際学部 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 TEL.028 (649) 5172/FAX.028 (649) 5171  
E-mail [kokuca@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp](mailto:kokuca@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp)



## グローバル時代のキャリア形成を考える

# 国際キャリア教育プログラム

参加者募集

## 2020 セミナー開講!!

### 国際キャリア教育

日時  
2020年9月19日(土) 9:30  
~21日(月祝) 15:15

定員：50名(先着順)

### International Career Seminar

日時  
2020年9月26日(土) 9:30  
~28日(月) 15:15

定員：50名(先着順)

### 共通事項

参加費：無料 ※ネットワーク通信料は自己負担となります。

会場：全日程、Zoom等によるメディア授業で実施。ご自宅からご参加いただけます。

備考：各自メディア媒体(PC、スマートフォン等)および、インターネット環境の整備(wifi契約やスマホデータ通信量の増量)をお願いします。上記日程の他、オンラインオリエンテーション授業を2回実施します。

詳細はホームページでご確認ください!!

国際キャリア教育プログラム <http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/>

※「国際キャリア教育」及び「International Career Seminar」は、栃木県からの支援を受けて大学コンソーシアムとちぎが開講する「とちぎグローバル人材育成プログラム」の共通科目として、宇都宮大学が実施するものです。



主催：大学コンソーシアムとちぎ、宇都宮大学  
後援：(公社) 栃木県経済同友会、  
(公財) 栃木県国際交流協会、  
NPO法人 宇都宮市国際交流協会、  
いっくら国際文化交流会、JICA筑波センター  
協賛：(一財) 栃木県青年会館、  
(公財) あしぎん国際交流財団



## 国際キャリア教育 グローバル時代のキャリア形成を考える

### 全体講義

### 混迷の時代の国際キャリアを考える ー真のグローバル人材に必要な条件ー

講師：重田 康博（しげた やすひろ）

宇都宮大学 国際学部 教授、国際キャリア教育運営委員会委員長

#### 全体講義内容：

今世界は混迷の時代と言われています。その混迷の時代を生きるための真のグローバル人材とは何か、その必要な条件を具体的な事例を示しながら紹介し、国際キャリア形成について考えます。

#### プロフィール：

1956年生。北九州市立大学大学院社会システム研究科博士後期課程修了（博士・学術）。国際協力推進協会（APIC）主任研究員、クリスチャン・エイド客員研究員（イギリス・ロンドン）、NGO活動推進センター（現、国際協力NGOセンター、JANIC）主幹等を経て宇都宮大学国際学部教授、附属多文化公共圏センター研究員。専門は国際開発研究、国際NGO研究。JICA環境配慮助言委員。開発教育協会評議員、JVCとちぎネットワーク代表。福島原発震災に関する研究フォーラム・アドバイザー。著書に『NGOの発展の軌跡』（明石書店 2005）、『国際NGOが世界を変える』（共著、東信堂 2006）、「第4章ミレニアム開発目標」田中治彦編著『開発教育ー持続可能な世界のために』（学文社 2008）、『激動するグローバル市民社会ー慈善から公正への発展と展開』（2017）他。

### 分科会

分科会講師は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

#### 国際ビジネス

### A. 「百聞は一見に如かず」で現地を体験しよう！

講師：秋元 信彦（あきもと のぶひこ）

株式会社パン・アキモト 専務取締役 なんでも係

#### 分科会内容：

栃木からでも世界の飢餓問題に取り組める！弊社の「救世鳥プロジェクト」は備蓄用のパン缶詰を活用し国内外の困っている方々を支援するプロジェクトです。「百聞は一見に如かず。」国内外の現地に行かなければ体現できない事柄などについて議論を進めていきましょう。

#### プロフィール：

1979年生まれ（40歳）。栃木県立黒磯南高校卒業。トラベルジャーナル旅行専門学校卒業。コンコーディアユニバーシティカリフォルニアに1年半の遊学（米国同時多発テロ発生の為帰国）。2001年 株式会社HIS入社。2007年 株式会社パン・アキモト入社。趣味は子供たちとサッカーをする事！

#### 異文化理解コミュニケーション

### B. コーチングを使った コミュニケーションの極意

講師：山本 純子（やまもと じゅんこ）

ヤマゼンコミュニケーションズ株式会社 常務取締役

#### 分科会内容：

異文化を理解するために必要なスキルはコミュニケーションです。そしてコミュニケーションを取るうえで最も大切なのは、“自分を知る”ということ。自分自身と向き合い、価値観や信念を理解すれば、世界中の人とよりスムーズなコミュニケーションを達成することが出来ます。

#### プロフィール：

フェリス女学院大学卒業後、祖父の経営する印刷・広告会社に入社。2012年にICC Executive Coachの資格を取得したことをきっかけに企業向け人材育成コーチングを始める。又、2018年からはMBAを取得するためにUniversity of Massachusetts Lowellに入学。2人の娘の母としても奮闘中。

#### 国際協力・国際貢献

### C. ライフキャリアをデザインする

講師：鈴木 晶子（すずき あきこ）

公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会  
広報・リレーションズ課 課長

#### 分科会内容：

変化する国際協力業界では、自分の得意なことを伸ばし、納得感があるキャリアを形成することが大切です。多様な働き方が求められる中、自分らしい生き方、働き方とは何かを一緒に考えてみたいと思います。

#### プロフィール：

2005年入職。これまで、6カ国、1難民キャンプ、1島で教育協力、緊急救援事業に従事。海外での勤務経験で最も長いのは、カンボジアの4年間。プロコーチ養成スクール、青山学院大学ワークショップデザイナー育成プログラム卒業。コミュニケーションを通した学びに関心をもち、年間30回ほど講演やワークショップを行う。

#### 国際協力・国際貢献

### D. 学際フィールドワークを試してみる

講師：大久保 達弘（おおくぼ たつひろ）

宇都宮大学 農学部 森林科学科 教授

#### 分科会内容：

農林水産分野における自然資源の持続的な利用と管理に関する課題を取り上げ、現場での研究フィールドワークの進め方を考えます。またその課題解決プロセスでチームワーク、個人の選択や能力の最大化などを体験します。

#### プロフィール：

1959年東京生まれ、宇大農学部で林学を学ぶ。大学院で埼玉県荒川源流、欧米の落葉広葉樹林の生態研究に取り組む。その後、東南アジア熱帯のマレーシア、タイ、中国で森林の更新、地域住民の森林利用を各国研究者と共同研究、2005年米国の専門職大学院に研究滞在。最近マレーシア・サラワク大学英語研修に引率教員で参加。

#### 国際協力・国際災害救援

### E. 災害復興支援と災害に強いまちづくり

講師：長谷川 万由美（はせがわ まゆみ）

宇都宮大学 共同教育学部 教授

#### 分科会内容：

自然災害の多い日本で災害時の支援について考えることは平常時の社会のあり方を考えることにもつながります。人のつながりを大切にした、災害に強いまちづくりに向けた災害復興支援について考えていきたいと思います。

#### プロフィール：

2000年より宇都宮大学教員。専門は地域福祉。宇都宮大学学生ボランティア支援室担当教員として2011年の東日本大震災、2015年の関東・東北豪雨災害、2019年の令和元年台風19号などでの学生のボランティア活動をコーディネートした。「3.11学問の不確かさ」「災害復興学入門」「ボランティアという生き方」などの授業を担当している。

#### 多文化共生と日本

### F. いくつかの日本

～アイヌ民族から考える多文化共生～

講師：若園 雄志郎（わかぞの ゆうしろう）

宇都宮大学 地域デザイン科学部 地域デザイン科学科 准教授  
北海道大学 アイヌ・先住民研究センター 客員研究員

#### 分科会内容：

日本における先住民族としてアイヌ民族が挙げられます。日本は多くの民族と多様な文化によって構成されています。日本の文化と歴史の問題である「多文化共生」について皆さんと議論しながら考えていきます。

#### プロフィール：

北海道釧路市出身。北海道大学アイヌ・先住民研究センター博士研究員を経て、2013年より宇都宮大学基盤教育センターでアクティブ・ラーニングの推進に携わる。2016年より現職。専門は社会教育、マイノリティ教育。近年はアイヌ民族に関する諸問題に加え、社会教育の視点から高校と地域の連携などについての研究をしている。

## International Career Seminar Globalization and Glocalization

### 全体講義

### Critical Thinking and Reasons for Being : Finding Meaningful Work in A Global Age

講師：Barbara Morrison, Ph.D. バーバラ モリソン

宇都宮大学 国際学部 准教授

#### 全体講義内容：

In this group session we will be talking and thinking about 生きがい and the ways in which we can begin to bring a sense of meaning (raison d'etre: reason for being) into our work and our lives. Using critical thinking as a guide, we will work together to understand how to both discover and cultivate what is meaningful for each of us in order to pursue and to accomplish careers both domestic and abroad.

#### プロフィール：

My career path has been varied to say the least and not without defeats which then became opportunities for growth. Very early in my career I understood that my best life lay in education and academia, but as I felt my family was unsupportive of that endeavour I turned to business - taking positions in real estate and head-hunting after having explored careers in law, government, retail, journalism, non-profit and the arts - before eventually finishing degrees in both Japanese and English literature that enable me to teach at the university level.

### 分科会

分科会講師は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 入門 Introductory Work Session

#### 多文化共生と日本

### A. Why do we work?

講師：Amin Ghadimi, Ph.D. アミン ガデミ

宇都宮大学 国際学部 助教

#### 分科会内容：

This seminar considers the intellectual and cultural dimensions of economic activity. What meaning is ascribed to work in contemporary Japan? What meaning should be ascribed? And what difference does it make, anyway?

#### プロフィール：

Amin Ghadimi teaches cultural and social theory at Utsunomiya University and studies the global intellectual history of modern Japan. His most recent research project examines perceptions of Ottoman despotism during the Japanese civil war of 1877. Born and raised in Kobe, Ghadimi completed his professional training as an historian in the United States. He has lived in various places across the Asia-Pacific region, including China and the South Pacific country of Vanuatu.

#### 国際協力・国際貢献

### B. Risk Communication and International Cooperation

講師：Akiko Iizuka, Ph.D. 飯塚 明子

宇都宮大学 留学生・国際交流センター 助教

#### 分科会内容：

This course introduces risk communication principles and actors in the field of international cooperation. Practical cases inside and outside Japan are studied through workshops and presentations. Finally, a project for effective risk communication is developed by students with the facilitation of the instructor.

#### プロフィール：

Akiko recently returned from the United States after her six-month research study. She received a BA in Economics in the United States and an MA in Development Studies in the Netherlands. She was engaged in several disaster management projects overseas through her work with Japanese NGOs and Kyoto University. Before arriving at Utsunomiya University, she lived in Sri Lanka for five years and in Vietnam for four years. She has two sons and enjoys practicing yoga daily.

#### 異文化理解コミュニケーション

### C. Let's be multilingual!

講師：Kazuhiko Yoshida, Ph.D. 吉田 一彦

宇都宮大学 国際学部 教授

#### 分科会内容：

If you are forced to focus on speaking English, you have the right to refuse. But if you speak English willingly, your efforts bring you a new channel of communication besides your mother tongue. We will play language games with several language channels and see how these channels may be helpful to understand others in our community. Participants are expected to work on guided preliminary practices with friends and acquaintances.

#### プロフィール：

Kazuhiko YOSHIDA, descendant of Emishi and Yamato from Rikuzen-Takata, is a multilingual communicator and instructor/researcher of human languages. He lived in France as a student and in Pakistan and Thailand as a Japanese language teacher. After receiving a Ph.D. in linguistics, he has been teaching multilingual communication at Utsunomiya University since 2003 and supporting government volunteers JOCV since 2007. Although he has visited over thirty countries and worked with people of over a hundred different nationalities, he is always amazed and delighted by the diversity of the world.

#### 異文化理解コミュニケーション

### D. Making Meaningful Connections

講師：Andrew Reimann, Ph.D. アンドリュー ライマン

青山学院大学 文学部英文学科 准教授

#### 分科会内容：

Globalization, interconnectivity and access to information have created both challenges and opportunities. Success requires being able to adapt, predict, improvise and pioneer new ideas while challenging old ones. In this seminar we will learn to communicate across differences and connect with others to create ideas that spread.

#### プロフィール：

Andrew Reimann (PhD, Applied Linguistics) teaches and researches intercultural communication, comparative culture studies and media literacy. He is from Vancouver, Canada and currently lives near Tokyo, Japan. Growing up in a bilingual family (English and German) and in a multicultural country (Canada), he was interested in how people could connect and communicate across differences. Intercultural communication uses language, observation and experimentation to unlock, explore and understand differences for mutual benefit and exchange. He is looking forward to making new connections.

### 中級以上 Intermediate Work Session (TOEIC550点程度以上から)

#### 国際協力・環境ガバナンス

### E. Dreams, Skills and Jobs

講師：Bernadett Kiss, Ph.D. バーナデット キッシュ

宇都宮大学 国際学部 外国人研究員  
ルンド大学（スウェーデン）講師

#### 分科会内容：

Finding your 'call' in life is not always a straightforward journey and often requires support along the way. In this session, you will explore your own skills and preferences and see what career perspectives these can offer in a globalized world.

#### プロフィール：

My career has followed a winding trail across a variety of landscapes, countries, disciplines and professions. While the destination has not always been clear, certain interests and values have carved my path and given me degrees in multiple disciplines and in both the private and public sectors. In the past 20 years, I have worked in communication, human resources and environmental project management. Today I am an environmental researcher, and, well, we will see about tomorrow.

#### 国際ビジネス

### F. Discovering Opportunity

講師：Jack Kwok ジャック クオック

グーグル合同会社 Google Cloud  
上級クラウド ソリューション マネージャー

#### 分科会内容：

During the group work, you will learn how to discover opportunity around you and how to come up with an action plan to realize the opportunity with your ideas and creativity.

#### プロフィール：

Jack Kwok is a Googler working on helping enterprises to adopt new technologies and innovations to transform their traditional work style to "Work the way you live," by creating a working environment for empowering employees to become more creative and collaborative in order to gain the full power of their potential. He believes that technologies and innovations are important elements to improve human life and provide opportunities for everyone to access and gain knowledge that was not readily accessible in the past.